



令和4年度 予算案

主な事業の紹介



江東区

区民を守り、夢をつなぐ 未来への前進予算

新型コロナウイルスの出現から2年経ってなお、その脅威はいまだ衰えることなく、最前線の医療機関や保健所では必死の闘いが続いています。感染の早期収束に向けて、引き続き区一丸となって全力で対応してまいります。

一方、コロナ禍においても、52万人都市としての多様な行政課題を着実に解決するとともに、将来を見据えた計画的なまちづくりを進めていかなければなりません。



江東区長 山崎孝明

こうした状況を踏まえ、区では、「区民を守り、夢をつなぐ 未来への前進予算」として、令和4年度当初予算案を編成しました。

予算規模は、一般会計で2,284億2,100万円、前年度比5.2%の増、一般会計と3つの特別会計を合わせた総予算規模は3,273億1,700万円、前年度比4.4%の増となりました。

保健所や医療提供体制の強化に要する経費のほか、5歳から11歳や3回目のワクチン接種を確実に進めるための経費など、コロナから区民の生命・生活を守るための予算を計上いたしました。

また、令和4年度からスタートする新たな「都市計画マスタープラン」に基づく計画的なまちづくりやゼロカーボンシティの実現に向けた取組み、オリンピック・パラリンピックレガシーの継承など、未来に向けた施策を積極的に推進し、新たな時代へバトンを繋いでいきます。

そして、いよいよ動き出した本区の重要課題である「地下鉄8号線の延伸」については、沿線まちづくり構想を策定し、目指すべき将来像の具体化に向けて取り組んでいきます。

区民の皆様が一日も早く活気ある日常を取り戻し、本区が輝かしい未来へさらなる飛躍を遂げるため、区議会や関係機関の皆様とともに、引き続き区政に邁進してまいります。

目 次

I 令和4年度当初予算案について	P1
------------------	----

II 主な事業の詳細	P4
赤字は重点項目	

1 健康・福祉

1-1 感染拡大に備え保健所・医療提供体制を拡充	P5
1-2 安心・安全なワクチン接種体制を構築	P6
1-3 区民の健康づくりを応援	P7
1-4 70歳の区民に無料の認知症検診を実施	P8
1-5 区内初！障害者の暮らしの場を提供する入所施設を整備	P9

2 産業・生活

2-1 キャッシュレス決済・プレミアム付商品券で地域経済を活性化	P10
2-2 経営相談のWeb予約・ICT補助で中小企業を支援	P11
2-3 夢の島総合運動場にスケートボードパークを整備	P12
2-4 スポーツのさらなる普及に向けイベントを開催	P13
2-5 渋谷栄一ゆかりの地で明治時代にタイムスリップ	P14
2-6 和船の大規模修理を通じて伝統技術を未来へ継承	P15

3 子育て・教育

- 3-1 区内初のこども向け複合施設を開設 P16
- 3-2 子ども家庭支援センター8か所体制でアウトリーチ支援 P17
- 3-3 多様な保育サービスを提供し、子育て世帯を支援 P18
- 3-4 オリンピック・パラリンピック教育のレガシーを未来へ P19
- 3-5 老朽化した学校を改築し、良好な教育環境を確保 P20

4 緑・環境

- 4-1 23区初！区独自の「環境検定」を創設 P21
- 4-2 砂町魚釣場跡地に区民農園を整備 P22

5 防災・まちづくり

- 5-1 地下鉄8号線沿線のまちづくり構想を策定 P23
- 5-2 都市計画マスタープラン2022でまちづくりを推進 P24
- 5-3 通学路の安全対策を強化 P25

Ⅲ 資料編

P26

令和4年度 当初予算案について

区民を守り、夢をつなぐ 未来への前進予算

変化する社会経済環境の中にあって、新型コロナウイルス感染症対策を着実に進めるほか、行政のデジタル化への対応、ゼロカーボンシティの実現、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシー継承の具現化や地下鉄8号線の延伸など、未来の江東区へ向けて前進する予算

1 予算編成の基本的な考え方

1

長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、中長期的な予測が困難であっても、区民サービス向上のため、東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシー継承をはじめ、長期計画の重点プロジェクトを着実に推進するとともに、行政のデジタル化への対応やゼロカーボンシティの実現に向けた取組みなど、中長期的な視点に立ち、未来を見据えた効果的な施策を、職員の意欲あふれる柔軟な発想によって展開していく。

2

社会情勢の大きな変化を的確に捉え、さらに高度化・複雑化する行政課題に対し、スピード感をもって効果的に対応するには、職員一人ひとりが区を取り巻く現状を理解し、改めて施策の優先順位の洗い直しを図る必要がある。併せて事業の目的や効果を再認識し、前例に捉われない積極的な事業の見直しや再構築を行い、全庁一致団結して新たな施策展開の財源確保に努めていく。

3

今後、特別区税などの減収が懸念される状況にあっても、多様化する区民ニーズに応え、持続可能な区政運営を的確に行うため、引き続き「江東区行財政改革計画」を着実に推進するとともに、事務事業の総点検による経費節減の徹底、新たな歳入確保策に加え、ICTの利活用による効率的な行政運営を積極的に推進し、健全で持続可能な財政基盤の構築を図っていく。

2 予算規模

区分	令和4年度	令和3年度	増減額	増減率 (%)
一般会計	2,284億2,100万円	2,171億2,900万円	112億9,200万円	5.2
国民健康 保険会計	488億円	481億4,400万円	6億5,600万円	1.4
介護保険 会 計	387億6,100万円	375億6,000万円	12億100万円	3.2
後期高齢者 医 療 会 計	113億3,500万円	106億4,000万円	6億9,500万円	6.5
計	3,273億1,700万円	3,134億7,300万円	138億4,400万円	4.4

3 主な事業の件数と金額

事業内容		件数	金額
長期計画に定める 主要事業	施設 (ハード事業)	41件	197億4,100万円
	非施設 (ソフト事業)	26件	77億9,700万円
新たな取組み(主要事業を含む)		50件	104億4,004万円
事業の拡充(主要事業を含む)		42件	46億8,189万円

4 重点的な取り組み

1 行政のデジタル化関連経費 1億3,479万円

- 子育て情報ポータルサイトに子ども家庭支援センター及び児童館で開催する乳幼児親子向けプログラム等の予約機能を追加
- 疫学調査・健康観察の迅速・効率化に向け、カルテの電子化を実施 **P5**
- 渋谷栄一ゆかりの地にAR機能等を活用した説明板を設置 **P14**

2 ゼロカーボンシティの実現関連経費 13億5,384万円

- 区と文化コミュニティ財団が連携し、環境に関する講演会や環境学習情報館(えこっくる江東)からの出前講座等によるイベントを文化センターで実施
- 環境に関する基礎的な知識を一層高めるため、中学生を主な対象とした環境検定をオンラインで実施 **P21**
- さらなるごみ減量及びCO₂削減を図るため、生ごみ処理機購入費の一部助成を実施

3 オリンピック・パラリンピックレガシー関連経費 3億1,535万円

- スポーツボランティアの養成とボランティア活動をコーディネートするスポーツボランティア登録制度を創設 **P13**
- 夢の島総合運動場内に初・中級者向けのスケートボードパークを整備 **P12**
- 小学生ボッチャ大会、パラリンピアンによる心の教育授業等を実施 **P19**

4 新型コロナウイルス感染症対策経費 88億1,043万円

区民生活を支える取組み(63億2,082万円)

患者搬送体制の確保やコールセンターの委託化、施設使用料等の特例的措置の継続 等
<うち新型コロナウイルスワクチン接種:48億3,839万円>

3回目接種や、5歳から11歳までの対象拡大に対応した体制を整備 等 **P6**

区内事業者を支える取組み(22億8,608万円)

新型コロナウイルス感染症対策資金融資に係る信用保証料補助及び利子補助を実施 等
医療機関・従事者を支える取組み(2億 352万円)

新型コロナウイルス感染症患者の受入れ等をした区内医療機関に対し補助金を支給 等 **P5**

5 地下鉄8号線関連経費 10億3,787万円

- 地下鉄8号線延伸を見据えたまちづくり構想の策定等を実施 **P23**
- 地下鉄8号線建設基金への積立てを継続

ふるさと納税制度を活用したクラウドファンディングの導入

ふるさと納税制度を活用したクラウドファンディングを導入し、区内外に事業PRを実施するとともに財源を確保

主なクラウドファンディング活用事業

- スケートボードパーク整備 **P12**
- 渋谷栄一と江東区とのつながりを発信するプロジェクト **P14**

主な事業の詳細



NEW 感染拡大に備え保健所・医療提供体制を拡充

事業名

- ① 感染症対策事業
- ② 地域医療緊急支援事業

予算額

- ① 2億212万円
- ② 2億352万円

POINT

- 電子カルテシステムの活用やPCRセンターの委託により、保健師・医師が患者対応に特化
- 医療機関を支援し、地域医療を安定化



< 配備されているタブレット端末 >

事業概要

背景

- 昨夏の第5波の感染拡大時には、区内で1日に200人を超える感染者が確認され、保健所体制・医療提供体制がひっ迫しました。
- 新たな変異株の出現などにより、感染状況は長期化しており、保健所や医療機関では、懸命の対応が続いています。
- 感染症患者の支援体制確保のための施策を、令和4年度は拡充・継続します。

保健所体制の強化

システムやPCR車両導入で患者対応を強化

- 紙で作成・管理していた患者情報を電子カルテシステムで一元管理し、タブレット端末で患者の健康状態を即座に把握、関係機関等からの照会に迅速に対応します。
- PCRセンターの運営を民間委託するとともに、検査専用車両を活用したPCR検査を実施する等、機動的な検査体制を構築します。



< PCR検査専用車両(イメージ) >

医療提供体制の維持

最前線に対応にあたる医療機関へ区独自補助を継続

- 感染症患者の病床確保のための区独自補助を継続し、医療提供体制の安定化を図ります。

担当課:保健予防課／健康推進課
電話:3647-5894／3647-5889



NEW

安心・安全なワクチン接種体制を構築

重点
項目

事業名 新型コロナウイルスワクチン接種事業

予算額 48億3,839万円

POINT

- 5歳～11歳の接種を専用会場で実施
- 独自の取り組みで3回目接種を促進



＜集団接種会場での接種の様子＞

事業概要

3回目接種のスケジュール

	令和3年度			令和4年度					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
高齢者 (65歳以上)	1/13～接種券発送 1/18～3回目接種								
18歳～64歳		1/24～接種券発送 2/2～3回目接種							

3回目接種の接種体制

- ・ 6か所のスポーツセンターでの集団接種
- ・ 約150か所の医療機関での個別接種

5歳～11歳の接種体制

- 5歳～11歳の接種については、専用会場を開設し、安心して接種できる体制を整えます。

接種場所

区内小児科医院等(約60か所)

区内4か所の保健相談所

- 2月10日から接種券を発送し、3月から接種を開始します。

接種証明書としても活用できる接種済証ホルダーを配布

- 1・2回目接種の際、主に高齢者に配布した接種済証ホルダーを新たに25万セット作成し、「希望者全員」に配布します。



＜接種済証ホルダー＞

その他接種促進に向けた取り組み(予定)

- LINEを活用した余剰ワクチンの案内
- 会場での接種が困難な高齢者や障害者宅へ巡回接種を実施
- 高齢者・重度障害者に集団接種会場での接種時に帰宅用タクシー料金(500円)を補助

担当課:新型コロナウイルスワクチン接種推進室
電話:3647-8635



区民の健康づくりを応援

事業名

健康増進事業

予算額

2,202万円

POINT

- こうとう健康チャレンジの定員を拡大
- ポイントを貯めると抽選で賞品が当たる



事業概要

事業内容

こうとう健康チャレンジ

区民の自主的な健康づくりを促すため、令和3年度に開始

<利用のながれ>

専用アプリを
スマートフォンに
ダウンロード



日々の歩行や検診受診、
イベント参加などで
ポイントを貯める

区内共通商品券などが
当たる！



- 令和3年度は定員1,000人で実施しましたが、非常に多くの申し込みがあり、急遽定員を3,000人に拡大しました。
- 令和4年度は、参加定員を6,000人に拡大して実施します。

背景・ねらい

- 平成29年度の区民健康意識調査では、「健康に関心がある」が8割半ばと高い水準の一方で、「定期的な運動をしている」は4割台半ばにとどまっています。
- ポイント付与やアプリ内のイベント開催により、健康づくりに楽しく取り組んでもらい、継続的な運動習慣を定着させるきっかけとします。

スケジュール

時 期	内 容
令和4年9月	説明会・参加登録開始
令和4年10月～5年1月	ポイント付与期間
令和5年2月	賞品抽選期間
令和5年3月	賞品送付・ アンケートによる効果検証

担当課:健康推進課
電話:3647-5889



NEW

70歳の区民に無料の認知症検診を実施

事業名

認知症高齢者支援事業

予算額

1,305万円

POINT

- 70歳の区民全員が無料で受診可能！
- 認知症に対する正しい理解と早期対応を促進



<長寿サポートセンターでの相談の様子(イメージ)>

事業概要

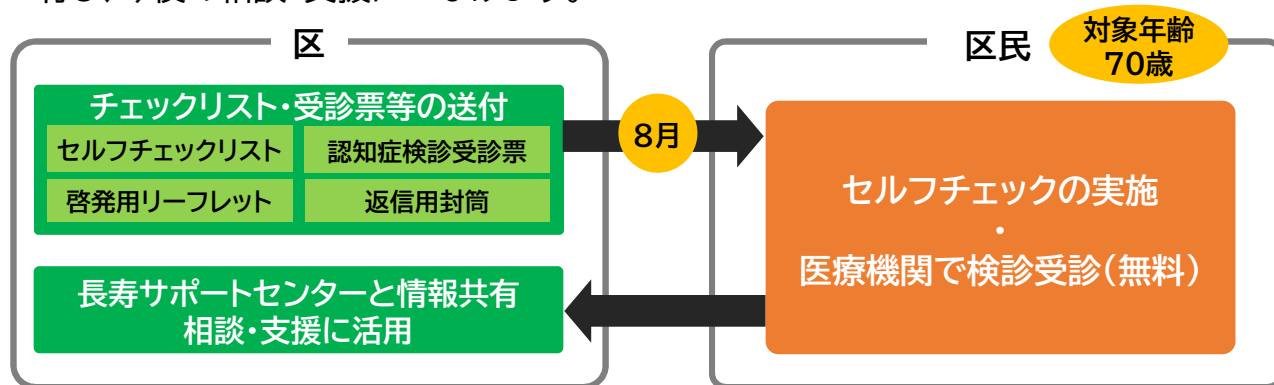
背景



- 認知症は誰でもなりうる身近なものであり、認知症高齢者数は年々増加しています。令和2年度の区内の認知症高齢者数は約2万人(推計値)となっています。
- 認知症の早期診断を行うことや、本人・家族が認知症への理解を深めることで、認知症の症状が軽いうちに、進行を緩めるなど適切なケアを行える可能性が高まります。

事業内容

- 70歳の区民全員(約5,600人)にセルフチェックリストや検診受診票を送付します。
- チェックリストで自己診断ができるほか、対象医療機関で検診を無料で受診できます。
- 区民から返送されるチェックリストの内容や受診結果を長寿サポートセンターなどと共有し、今後の相談・支援につなげます。



目的・効果

- 認知症の早期診断により適切な医療や介護、生活支援につなげ、本人や家族の生活に生じる支障や負担を軽減します。
- 認知症の正しい知識の普及啓発、早期診断・対応を促進します。

担当課:地域ケア推進課
電話:3647-4398



NEW 区内初！障害者の暮らしの場を提供する入所施設を整備

重点項目

事業名

障害者入所施設整備事業

予算額

4億2,187万円

POINT

- 区内初となる障害者の入所施設を整備
- 重度障害者への地域支援体制を充実



<施設外観(イメージ)>

事業概要

事業内容

- 塩浜二丁目に、障害者の地域生活への移行に向けた日中活動の場を併設する障害者入所施設を、区内で初めて整備します。

施設概要

所在地・面積	塩浜二丁目5番 ・ 3,883㎡			
提供サービス	施設入所支援 定員45名	生活介護 定員60名	相談支援	地域交流 スペース
		短期入所 定員6名	自立生活援助	
※ 生活介護の定員には施設入所者45名を含む				
整備・運営	区有地を貸し付け、整備・運営は民設民営方式			

※ 生活介護の定員には施設入所者45名を含む

目的・効果

- 障害の重度化や介護者の高齢化を背景とした障害者支援ニーズの高まりに対応するため、重度障害者の受入体制を拡充します。
- 入浴、排せつ及び食事の介護、その他の必要な支援を行う短期入所を併設し、家族など介護者の精神的、身体的負担を軽減します。(現在、短期入所施設は区内1施設のみ)
- 入所施設開設により、障害者の生活を支える地域生活支援拠点づくりをさらに進めていきます。

スケジュール

時 期	内 容
令和4年度	利用者募集・決定、施設竣工
令和5年4月	運営開始

担当課:障害者施策課
電話:3647-9716



キャッシュレス決済・プレミアム付商品券で地域経済を活性化

事業名

- ① 商店街連合会支援事業(キャッシュレスポイント)
- ② 商店街連合会支援事業(区内共通商品券)

予算額

- ① 5億3,667万円
- ② 5,807万円

POINT

- コロナ禍で落ち込んだ地域経済を活性化!
- 個人消費の喚起と来街者の増加につなげる



事業概要

事業内容

- 対象期間中に指定するキャッシュレス決済(QRコード決済)を利用して、江東区商店街連合会加盟店舗等で決済した方に、ポイントを還元します。(還元率・付与上限・実施期間は予定)

還元率	付与上限 ※	実施期間
20%	2,000円相当/1回あたり 8,000円相当/期間中合計	令和4年9月 (1か月間)



※ 複数のキャッシュレス決済事業者で実施の場合、1事業者あたりの付与上限

- 商店街連合会加盟店舗等で利用できるプレミアム付区内共通商品券(紙)を発行します。

プレミアム率	販売価格	発行冊数
20%	1冊10,000円 (500円×24枚=12,000円として利用可)	20,000冊



事業スケジュール(予定)

① キャッシュレス決済ポイント還元事業

時 期	内 容
令和4年6月～8月	参加希望店舗等募集
令和4年9月	キャンペーン実施期間
令和4年10月～	ポイント還元実施

② 区内共通商品券事業

時 期	内 容
令和4年5月中旬～	申請受付開始
令和4年6月下旬	購入引換券発送
令和4年7月～	商品券販売開始

担当課:経済課
電話:3647-9502



経営相談のWeb予約・ICT補助で中小企業を支援

事業名

- ① 経営相談事業(Web予約システム導入)
- ② 販路開拓支援事業(ICT等ツール導入支援)

予算額

- ① 233万円
- ② 1,200万円(うち拡充575万円)

POINT

- 経営相談がWebで24時間予約可能に！
- ICT等ツール導入を支援し、区内産業の成長を促進



PC・スマホから相談予約が可能に



中小事業者のICT化を促進

経営相談のWeb予約システムを新たに導入

事業内容・効果

- 経営相談予約システムを導入し、経営相談を希望する方が24時間、パソコン・スマートフォン等から予約ができます。
- 予約状況の可視化や手続き時間の短縮のほか、融資制度や各種支援制度の説明ページにリンクさせることで、相談者の利便性向上につなげます。

事業スケジュール

時 期	内 容
令和4年4月～7月	システム構築・テスト運用
令和4年7月～	Web予約開始 (電話・窓口での予約も継続実施)



中小企業に対するICT等ツール導入支援を拡充

事業内容・効果

- ICT等ツールの導入を検討する事業者に対し、専門家の無料派遣及び導入費用の一部補助を行う制度について、令和3年度のニーズを踏まえ、事業規模を大幅に拡充します。
- ICT等ツールの導入を促進することにより、事業者が抱える課題の解決や生産性の向上を図り、区内産業の更なる成長につなげます。

<専門家の無料派遣>

派遣件数
30件(R3:20件)

<ICT等ツール導入費用補助>

補助率	補助上限	補助件数
1/2	50万円	20件(R3:10件)

担当課:経済課
電話:3647-2331



NEW 夢の島総合運動場にスケートボードパークを整備

重点
項目

事業名

- ① スケートボードパーク整備事業
- ② スポーツ施設管理運営事業

予算額

- ① 2億7,347万円
- ② 123万円

POINT

- 誰もが楽しめる初・中級者向けの施設を整備
- 競技のさらなる普及に向けてマナー啓発を実施



<パーク内のセクション(イメージ)>

事業概要

事業内容

- 夢の島総合運動場北側に約2,400㎡のスケートボードパークを整備します。
- 東京2020大会のレガシーとして、東京アクアティクスセンターで使用された椅子をパーク内のベンチとして移設します。
- 11月にオープニングセレモニーを開催します。
- 整備費用の一部は、ふるさと納税によるクラウドファンディングを活用します。



背景・目的

- 区立公園等はスケートボードが原則禁止のため、自由楽しめる場所が少ないことから、こどもから大人まで誰もが安心して楽しめる初・中級者向けの施設を整えます。
- 利用者のニーズに合致した魅力ある施設とするため、堀米雄斗選手の関係者をはじめ、競技関係者等を交えた意見交換会での意見を設計に反映させます。
- 教室の開催やマナー啓発に力を入れ、スポーツとしての認知度向上を図ります。

事業スケジュール

11月～3月	4月～6月	7月	8月	9月	10月	11月
意見交換会						オープニング セレモニー
現地測量・ 地盤調査・設計	契約準備等	工事 (スケボーパーク整備・椅子移設等)				一般利用開始

担当課:スポーツ振興課
電話:3647-4887



NEW スポーツのさらなる普及に向けイベントを開催

事業名

- ① 区民スポーツ普及振興事業
- ② スポーツ施設管理運営事業

予算額

- ① 129万円
- ② 412万円

POINT

- 東京2020大会の会場でスポーツ大会を開催
- ボランティアを養成し、活躍の場を提供



<スポーツイベントのイメージ>
(ファミリースポーツチャレンジ2019)

事業概要

事業内容

こどもカヌー大会を 海の森水上競技場で開催

東京2020大会でカヌー競技が実施された海の森水上競技場で「こどもカヌー大会」を開催



パラスポーツに触れる ことができるイベントを開催

パラリンピック競技を区民に楽しんでもらえるイベントとして、12月に「みんなでスポーツフェスタ」を開催



誰もが楽しめる ボッチャの普及を促進

年齢・性別・障害の有無に関わらず、誰もが楽しめるボッチャ交流大会を3月に開催



スポーツボランティア登録制度を創設

必要な知識や心がまえを学んでもらうスポーツボランティア養成講習会を年6回開催し、受講者にはボランティアとして参加できる区のスポーツイベントを紹介

目的・効果

- オリパラ競技会場を実際に使用することで東京2020大会の記憶と感動を継承するとともに、パラスポーツイベントの開催やボッチャの普及促進により、パラスポーツのさらなる発展と多様性を認め合う共生社会の実現に取り組みます。
- 東京2020大会を契機に高まったボランティア活動の意欲を実際の行動につなげる機会を提供することで、「心のレガシー」を継承し、ボランティアがいきいきと活躍できる地域社会を目指します。

担当課:スポーツ振興課
電話:3647-4887



NEW 渋沢栄一ゆかりの地で明治時代にタイムスリップ

重点
項目

事業名

観光イベント事業

予算額

889万円

POINT

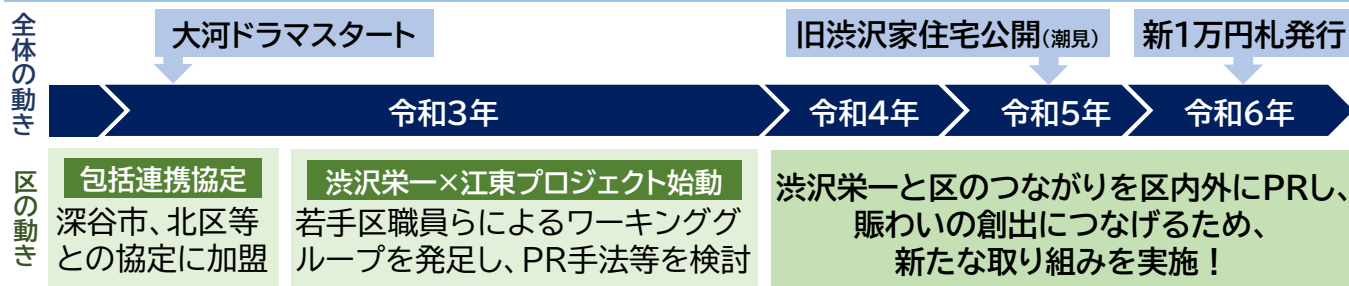
- ARで旧渋沢邸宅がその場に現れる！
- ゆかりの地マップで渋沢栄一と江東区のつながりをPR



<AR機能で旧渋沢邸宅が出現(イメージ)>

事業概要

これまでの経緯と今後の主な予定



江東区と渋沢栄一のつながり

深川福住町(現在の永代2)に12年間居を構え、旧深川区の初代区会議長や教育会会長を務めるなど区政に大きく関わる

事業内容

- 渋沢栄一ゆかりの地のメインとなる10か所に、統一的なデザインの説明板を設置します。(渋沢栄一宅跡(永代2)等を予定)
- 説明板に掲載されたQRコードをスマートフォンで読み取ると、当時の写真が表示され、音声ガイドで説明を聞くことができます。
- 特に観光スポットとなる4か所の説明板には、その場に当時の様子を重ね合わせることができるAR機能を導入します。
- 約30か所の渋沢栄一ゆかりの地を紹介する「まちあるきマップ」の作成、展示会や説明板を活用したまちあるきルートの紹介等のイベントを開催する予定です。



<説明板(イメージ)>
参考例:南アルプス市



<関連展示やまちあるきツアーの様子>



<渋沢栄一ゆかりの地マップ(イメージ)>

担当課:文化観光課
電話:3647-3312



和船の大規模修理を通じて伝統技術を未来へ継承

事業名

文化財公開事業

予算額

393万円

POINT

- 伝統技術を受け継ぐ「和船」を大規模修理
- 区無形文化財「船大工」の技術を未来へ継承



＜お江戸深川さくらまつりでの様子＞

事業概要

事業内容

- 製作されてから25年以上経過している櫓漕ぎ和船「ゆりかもめ」について、大規模な修理・点検を行います。
- 江戸時代から受け継がれてきた区の無形文化財「船大工」の技術を伝える「佐野造船所」が修理・点検を行う予定です。
- 修理費用の一部は、ふるさと納税によるクラウドファンディングを活用します。

背景

- 区では6艘の和船を保有し、ボランティア団体「和船友の会」の協力により、無料乗船体験や櫓漕ぎ体験、さくらまつりのイベントで使用してきました。
- 平成8年(1996年)に製作された和船「ゆりかもめ」は、和船友の会による点検や軽微な修理を行ってきましたが、専門家による修理・点検が行われていません。

目的・効果

- 本区の特徴である内部河川と古くから関わりの深い区無形文化財「船大工」の技術を未来へ保存継承していきます。
- 江戸時代から現代に受け継がれる木造の櫓漕ぎ和船は、本区の観光振興や水辺の環境整備と連携し、引き続き区内のイベント等で本区の魅力を全国に発信していきます。

事業スケジュール

時 期	内 容
令和4年6月～12月	修理・点検(資材調達、搬送)
令和5年1月～	無料乗船・櫓漕ぎ体験で運航
令和5年3月	さくらまつりで運航



＜傷んだ船首や船底の様子＞

担当課:文化観光課
電話:3647-9819



NEW

区内初のこども向け複合施設を開設

重点項目

事業名

- ① こどもプラザ管理運営事業
- ② 子ども家庭支援センター管理運営事業
- ③ 図書館管理運営事業

予算額

- ① 5,303万円
- ② 6,265万円
- ③ 8,300万円

POINT

- 妊娠期から18歳までの切れ目ない支援を実施
- 中高生・地域向けイベントなど様々な事業を展開

事業概要

事業内容

- 児童会館跡地(住吉1)を活用し、令和4年5月にこども向け複合施設「こどもプラザ」を開設します。
- 住吉子ども家庭支援センター、こどもプラザ図書館、地域交流スペース等で構成され、妊娠期・乳幼児期から18歳までを対象としたこどものための新たな拠点となります。



<施設外観(イメージ)>

<施設の構造>

4F	小学校高学年～中高生 フロア(運動・音楽)	バスケットボールや卓球などの球技や映画会などができる多目的スペース、様々な楽器を備えた音楽室、貸出用の会議室等を設置
3F	小学校高学年～中高生 フロア(読書・学習)	中高生向け書籍・漫画を備えるティーンズコーナーや、小学校高学年向けの図書コーナー、グループで学習できるスペースを設置
2F	乳幼児～小学校低学年 フロア	親子でゆっくり遊べるプレイルームや小学校低学年向けの図書コーナーなど、子ども家庭支援センターと図書館を同じフロアで運営
1F	地域に開かれたフロア	地域住民の憩いの場として、地域交流スペースや読書サロンを設置

特色ある取り組み

継続してこどもの成長を見守り続ける場

子育て支援サービスや、スポーツ・学習・読書を支援するプログラムなど、複合施設の強みを生かした多種多様な事業を実施

父親・母親に向けた育児講座

小中高生向けスポーツ大会

絵本作家講演会



社会全体でこどもを育てるための地域拠点の場

地域住民向けのイベントや講座、地域へ外向き交流を図る取り組みを実施

地域一体となつて行うお祭り

地域の商店街や学校との交流イベント



施設の特徴を生かしたサービス提供の場

親子や友だち同士で会話をしながら利用できる図書館運営や、子ども家庭支援センターと図書館の共同イベントなどを実施

おはなし工作会

謎解きスタンプラリー



担当課:こども家庭支援課／江東図書館
電話:3647-9230／3640-3154



子ども家庭支援センター8か所体制でアウトリーチ支援

事業名

- ① 子ども家庭支援センター管理運営事業
- ② 児童虐待対応事業

予算額

- ① 1億5,517万円
- ② 1,168万円

POINT

- 住吉・亀戸地域に開設し、区内8か所に！
- アウトリーチ支援体制を区内全域で構築



<子ども家庭支援センターの様子>

子ども家庭支援センターを新たに2か所開設

- 住吉及び亀戸地域に新たに子ども家庭支援センターを開設し、区内8か所体制とします。
- 2センターの開設で、より身近な地域でのサービス提供が可能となり、地域の保護者の育児負担軽減や孤立感の解消を図ります。

	住吉子ども家庭支援センター	亀戸子ども家庭支援センター
所在地	住吉一丁目9番8号 (こどもプラザ内)	亀戸六丁目31番26号 (第二亀戸小増築棟1階)
延床面積	2,810㎡(複合施設全体)	576㎡
開 設	令和4年5月	令和4年4月

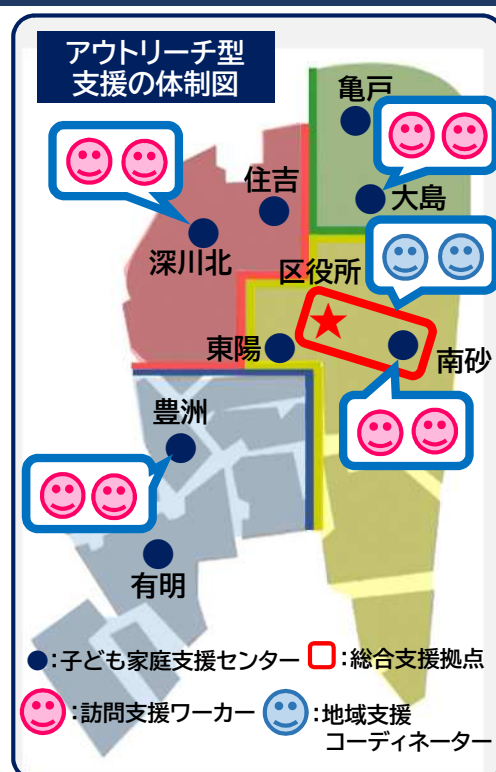
アウトリーチ支援を全区展開

- 令和3年度に試行導入した、アウトリーチ支援を行う「訪問支援ワーカー」とワーカーの支援や進行管理を行う「地域支援コーディネーター」を増配置し、全区的にアウトリーチ型の支援体制を強化します。

	配置人数	配置場所
訪問支援ワーカー	8名 (3年度2名)	4センターに各2名 右記エリア内で活動 ※ 深川北・豊洲・大島・南砂
地域支援 コーディネーター	2名 (3年度1名)	子ども家庭総合支援拠点(※) (南砂・区役所)

※ 子ども家庭総合支援拠点：こどもと家庭、妊産婦等を対象に相談からソーシャルワーク業務まで広く支援機能を担う拠点。区では、区こども家庭支援課と南砂子ども家庭支援センターを合わせて位置づけている

担当課:こども家庭支援課
電話:3647-9230





NEW 多様な保育サービスを提供し、子育て世帯を支援

事業名

- ① 私立保育所整備事業
- ② 私立保育所扶助事業
- ③ 私立保育所補助事業

予算額

- ① 16億242万円
- ② 1,251万円
- ③ 547万円

POINT

- 保育需要に迅速に対処し、待機児童解消へ
- 新たに拠点方式による休日保育を実施



認可保育所の整備

事業内容

- 令和5年4月開設に向け、民間活力を活用した保育施設の整備等により、保育ニーズの高い地域を中心に約400人の認可保育所定員の増加を図ります。

※ 開設場所、施設数(定員)は、保育需要の状況等に応じて決定

<待機児童数及び新規開設園等>

(各4月1日現在)

年度	H29	H30	R1	R2	R3
待機児童数	322	76	51	14	4
新規開設園数(※1) (うち認可移行数)	9(0)	14(1)	23(8)	19(1)	8(0)
認可定員増数(※2)	1,053	947	1,282	1,342	552

※1 新規開設園数：認可保育所(認可外保育施設からの認可移行を含む)、小規模保育事業所、幼保連携型認定こども園(保育認定児童分)

※2 認可定員増数：既存園の定員変更や認可外保育施設からの認可移行定員を含む

※ H30の新規開設園数及び認可定員増数には年度途中開設園を含む



<豊洲枝川さくらんぼ保育園
(令和4年4月開設予定)>

令和3年度整備実績(令和4年4月開設予定)

- 地域ニーズを踏まえ、新たに13園(認可移行2園含む)を新規開設し、約900人の定員増を図りました。

新たな保育サービスの実施

事業内容

- 令和4年4月に新規開設する3園で、7月より日曜日及び祝日の休日保育を実施します。
- 保護者の就労等の要件を全て満たす区内在住のこどもが利用できます。(各園1日10名程度)

<休日保育実施園>

区域	園名(所在地)
深川	さくらさくみらい 新東陽(東陽2)
城東	ポピンズナーサリースクール亀戸(亀戸6)
臨海	豊洲枝川さくらんぼ保育園(枝川1)

担当課:保育計画課/保育課
電話:3647-9638/3647-9084



NEW オリンピック・パラリンピック教育のレガシーを未来へ

重点
項目

事業名

オリンピック・パラリンピック教育
レガシー活用事業

予算額

889万円

POINT

- オリンピック・パラリンピック教育の新たなステージへ！
- こどもたちの夢を広げる取り組みを実施



＜全校園で実施した聖火トーチリレーの様子＞

事業概要

目標

- オリンピック・パラリンピック教育の推進を通じて、学校・園が得られた知見や経験を活用し、レガシーとして継承していくことで、こどもたちの夢や将来への可能性を広げていきます。
- オリンピック・パラリンピック教育で重点的に育成する5つの資質を育み、豊かな人間像を形成していきます。

オリンピック・パラリンピック教育で重点的に育成する5つの資質

ボランティア
マインド

障害者理解

スポーツ志向

日本人として
の自覚と誇り

豊かな
国際感覚

事業内容

小学校 全校参加のボッチャ大会

小学校全46校が参加するボッチャ大会を開催。障害者理解や多様性等を学びます。
＜スケジュール＞
令和4年9月・・予選会 10月・・決勝大会



中学校 心の教育授業

パラリンピアンによる特別授業を実施。パラリンピアンとの交流を通して、夢に向かって努力する大切さなどを学びます。

＜スケジュール＞
令和4年度・・8校
(3か年で全校実施)



中学校 文化プログラム・学校連携事業

オーケストラや雅楽の鑑賞等を実施。国際感覚や日本人としての自覚等を学びます。

※ 小学校・中学校には義務教育学校も含む

担当課:指導室
電話:3647-9178



老朽化した学校を改築し、良好な教育環境を確保

事業名

第二大島小学校改築事業

予算額

12億2,930万円

※ 総事業費：46億3,565万円

POINT

- 環境に配慮したエコスクールを整備！
- 災害時の飲用水や電源確保に対応



<第二大島小学校(完成イメージ)>

事業概要

事業内容

- 良好な教育環境を確保するため、第二大島小学校校舎等の改築計画を進め、令和6年8月から供用開始します。
- 児童や地域の「想い」や「声」を収集・反映させ、安心して楽しく通える学校づくりを行うため、ワークショップを令和2年度に4回開催し、地域協働参画による改築事業を進めています。



<ワークショップの様子>

施設の特徴

緑豊かな校舎

区の地場産業である木材を利用して建物を木質化(※)するとともに、屋上部に菜園や植栽を配置、校舎南側や東側の壁面を緑化

※ 木質化：建築物の内装及び外装の全部または一部に木材を使用すること

災害に強い校舎

水害対策として、避難所となる屋内運動場や備蓄倉庫、電源設備を高層階に配置するほか、停電時でも飲用水が利用できる状況を確認

みんなにやさしい校舎

LED照明、非接触タイプのトイレ手洗いなど、環境や感染症予防を考慮した設備のほか、教室のあるフロア全てに車いす対応トイレを設置

スケジュール

時 期	内 容
令和2年6月～令和3年12月	基本・実施設計
令和4年7月～令和6年6月	工事
令和6年8月～	供用開始



担当課：学校施設課
電話：3647-9173



NEW

23区初！区独自の「環境検定」を創設

重点項目

事業名

- ① 江東エコライフ協議会運営事業
- ② 地球温暖化防止設備導入助成事業

予算額

- ① 2,012万円
- ② 500万円

POINT

- 区オリジナルの「江東区環境検定」を創設
- ゼロカーボンの実現に向けた取り組みを加速！



< 区の環境に関連した問題も出題 >

オンラインによる江東区環境検定

背景

- 区では、令和3年7月9日、2050年までに温室効果ガス(二酸化炭素)の排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指すことを表明し、脱炭素社会の実現に向けた行動を加速化しています。

事業内容

- 地球温暖化のしくみとその影響、再生可能エネルギーの種類などをはじめとする一般問題のほかに、5Rの推進、ごみ発電など、区独自の問題も出題し、地球環境を体系的にとらえる「江東区環境検定」を始めます。
- インターネット環境があれば、パソコンやスマートフォンを利用して、どこでも受験ができます。6割以上正解した合格者には認定証等を贈呈します。

対象	定員	検定日	試験概要
中学生以上	1,500名	令和5年1月 (10日間実施)	検定時間:30分 二肢択一方式 6割以上正解で合格

目的・効果

- 地球温暖化・エネルギー対策の推進、資源循環型地域社会の形成、自然との共生など、地球環境に関する知識を身につけることで、区民の環境意識の向上を図り、行動変容へとつなげます。

その他の温暖化対策(LED照明の助成対象者を拡大)

- 昨年11月にLED照明の助成事業の対象者を従来の集合住宅の管理組合から、区内中小企業事業者へと拡大しました。
- 事業のさらなる周知を図り、事業者のCO₂削減を一層促進します。

担当課:温暖化対策課
電話:3647-6124



NEW

砂町魚釣場跡地に区民農園を整備

事業名

砂町魚釣場跡地整備事業

予算額

3,907万円

POINT

- 魚釣場跡地を区の人気施設に有効活用！
- 区民が土や農作物に触れ合う機会を創出



<区民農園イメージ(城東区民農園)>

事業概要

事業内容

- 工業用水廃止に伴い、区内2か所の魚釣場を廃止し、砂町魚釣場(南砂五)を区内4か所の区民農園として整備します。
 <豊住魚釣場(千石二)については、今後活用方針を検討>
- 農園利用者以外も利用できる有料の駐車場を合わせて整備します。

目的・効果

- 利用希望者の多い区民農園を整備することで、農園利用機会と緑地の拡大を図ります。

<区民農園の応募倍率(令和元年度)>

城東区民農園(東砂四)	辰巳区民農園(辰巳二)	夢の島区民農園(夢の島一)
約6.2倍	約1.9倍	約3.5倍

- 有料駐車場を併設し、近接する仙台堀川公園を来訪する区民等の利便性と収益性向上を図ります。

事業スケジュール

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
砂町魚釣場	12月 周知 → 廃止			
区民農園	設計委託	基盤整備工事	農園整備工事	4月 開園

担当課:河川公園課
電話:3647-2089



NEW 地下鉄8号線沿線のまちづくり構想を策定

重点
項目

事業名 地下鉄8号線沿線まちづくり推進事業

予算額 3,172万円

POINT

- 目指すべき将来像を地域・事業者・行政で共有
- 沿線地域のまちづくり機運を醸成



事業概要

事業内容

- 地下鉄8号線(豊洲～住吉間)の延伸を見据え、沿線地域の目指すべき将来像等をまとめる「(仮称)地下鉄8号線沿線まちづくり構想」を策定します。

目的・効果

- 地域の意見等を十分に反映した沿線地域のまちづくりの方向性を示すことにより、地下鉄8号線延伸の整備効果を本区の発展に最大限結び付けることを目的とします。
- 沿線地域の将来像を、地域の方々・事業者・行政等が共有することにより、一体感を持ったまちづくりを進めることができます。
- 新線整備という絶好の機会を生かし、地域におけるまちづくりの機運を醸成し、まちづくり協議会の設立等に繋げていきます。

事業スケジュール



<区民ワークショップのイメージ>

担当課:地下鉄8号線事業推進担当
電話:3647-8678



NEW 都市計画マスタープラン2022でまちづくりを推進

事業名 都市計画マスタープラン進行管理事業

予算額 66万円

POINT

- 20年後を見据えマスタープラン2022始動！
- 指標設定でまちづくりの成果を管理！



<発展する江東区>

都市計画マスタープラン2022

プランの特色

- 20年後の江東区を見据え、「持続的に発展する共生都市」を目指して、3つの重点戦略や「拠点」「テーマ別」のまちづくりのほか、町丁目を目安とする「エリアまちづくり」を推進し、それぞれについて成果管理・進行管理を行います。

3つの重点戦略

1 地下鉄8号線延伸のまちづくり

2 未来の臨海部のまちづくり

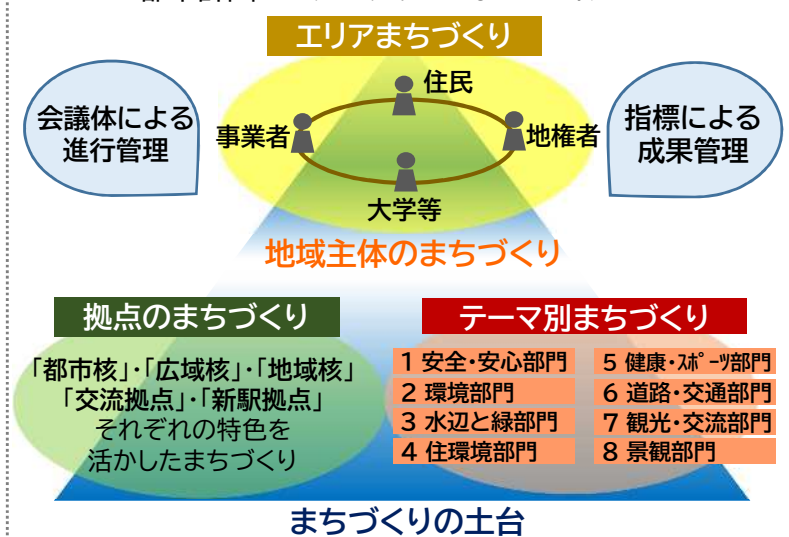
3 浸水対応型のまちづくり

マスタープランの成果・進行管理

事業内容

- 「区民満足度」「事業活動量」「まちづくり方針の策定」を指標として設定し、年度単位でまちづくりの成果を管理します。
- 外部有識者で構成する会議体を設置し、指標による成果を定期的に確認するとともに、まちづくりの方向性や手法等について検討します。

<都市計画マスタープラン2022のイメージ>



目的・効果

- 指標及び目標値を設定することにより、まちづくりの進捗・成果を定量的に把握できます。
- 外部有識者で構成する会議体から意見聴取することにより、まちづくりの客観性・専門性・透明性を高めます。

担当課:都市計画課
電話:3647-9439



NEW

通学路の安全対策を強化

事業名

交差点安全対策事業

予算額

8,408万円

POINT

- 通学路の交差点に、衝撃に強いボラード(車止め)を設置
- 交通事故から児童・生徒を守る



<交差点の待機場所(イメージ)>

事業概要

背景

- 近年、通学中の児童や生徒などが巻き込まれる自動車事故が多発しています。
- 交通事故時に歩道へ侵入する自動車から人命を守るため、交差点の安全性を高める必要があります。

事業内容

- 通学路に歩道への車両進入を阻止する耐衝撃性のボラード(車止め)を設置します。
- 教育委員会や警察とともに、効果的な設置場所を協議・選定します。
(区内70か所程度を予定)
- 歩行者や車椅子の利用者が、安全・快適に通行できる設置間隔を確保します。



↑ 設置例



← 衝突時イメージ

事業スケジュール

令和3年度		令和4年度											
2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
関係機関と調整		設置場所決定		工 事									
		設計・契約											

担当課:道路課
電話:3647-9665

資料編

1 歳入・歳出の内訳

一般会計(歳入・歳出)対前年度比較

区 分	令和4年度	令和3年度	増 減 額	増減率 (%)
歳 入	2,284億2,100万円	2,171億2,900万円	112億9,200万円	5.2
区税等(一般財源)	1,331億2,300万円	1,279億8,100万円	51億4,200万円	4.0
国・都支出金	611億 500万円	583億8,300万円	27億2,200万円	4.7
繰 入 金	229億3,900万円	192億1,400万円	37億2,500万円	19.4
特 別 区 債	13億8,500万円	19億1,900万円	△5億3,400万円	△27.8
そ の 他	98億6,900万円	96億3,200万円	2億3,700万円	2.5
歳 出	2,284億2,100万円	2,171億2,900万円	112億9,200万円	5.2
人 件 費	303億4,600万円	316億6,500万円	△13億1,900万円	△4.2
扶 助 費	759億1,300万円	743億5,700万円	15億5,600万円	2.1
公 債 費	26億4,400万円	33億1,900万円	△6億7,500万円	△20.3
普 通 建 設 事 業 費	198億3,900万円	186億1,800万円	12億2,100万円	6.6
積 立 金	70億3,200万円	74億1,000万円	△3億7,800万円	△5.1
物 件 費・補 助 費 等	717億9,100万円	609億3,400万円	108億5,700万円	17.8
そ の 他	208億5,600万円	208億2,700万円	3,000万円	0.1

*表示単位未満を四捨五入しているため、合計等が一致しない場合がある。

歳入の特徴

- 区税等(一般財源)は、対前年度比4.0%の増
(特別区交付金や特別区税の増などによる)
- 国・都支出金は、対前年度比4.7%の増
(新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金の皆増などによる)
- 特別区債は、対前年度比△27.8%の減
(児童向け複合施設整備の皆減などによる)

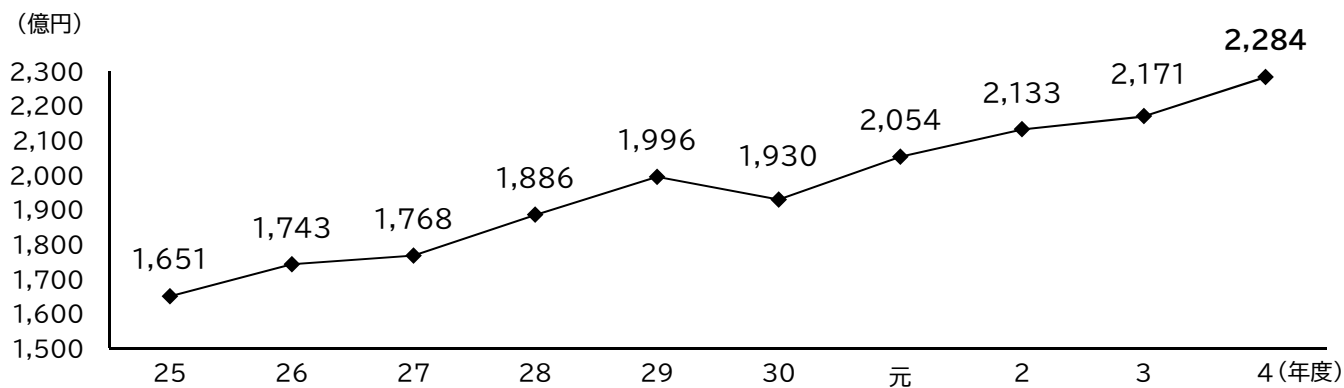
歳出の特徴

- 物件費・補助費等は、対前年度比17.8%の増
(新型コロナウイルスワクチン接種関連経費の増などによる)
- 扶助費は、対前年度比2.1%の増
(保育関連経費や障害福祉関連経費の増などによる)
- 公債費は、対前年度比△20.3%の減
(満期一括償還による元金の減などによる)

2 各項目の推移

2-1 一般会計(予算規模)の推移

4年度 2,284億2,100万円



■ 一般会計の予算規模は、前年度比5.2%の増となった。

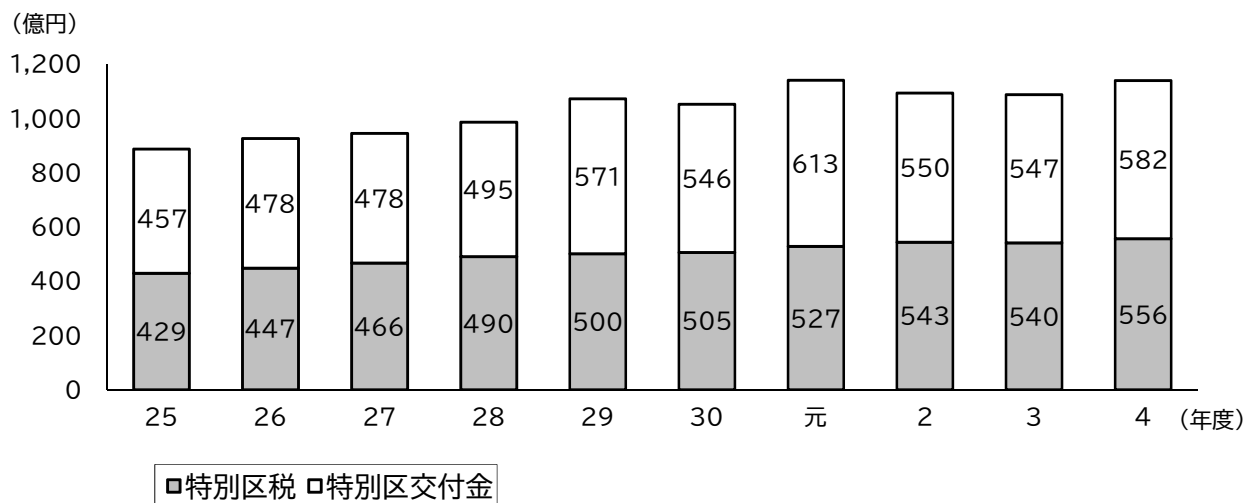
2-2 歳入(特別区税と特別区交付金)の推移

4年度 区 税 555億7,400万円
交付金 582億3,900万円

(単位:億円/当初予算ベース)

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
区税	429	447	466	490	500	505	527	543	540	556
交付金	457	478	478	495	571	546	613	550	547	582
合計	886	925	944	985	1,071	1,052	1,140	1,093	1,087	1,138
構成比	53.7	53.0	53.4	52.2	53.7	54.5	55.5	51.2	50.0	49.8

構成比＝特別区税と特別区交付金の合計額が、歳入全体に占める割合(%)

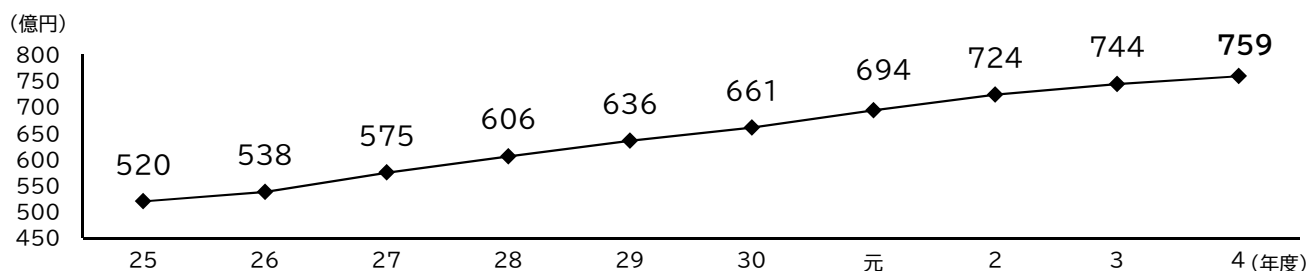


■ 区の基幹的な歳入である特別区税と特別区交付金の合計額は、1,138億円。
特別区税と特別区交付金がともに増となり、一般会計に占める構成比は49.8%となった。

2-3 歳出の推移

(1) 扶助費(児童福祉費や生活保護費など)

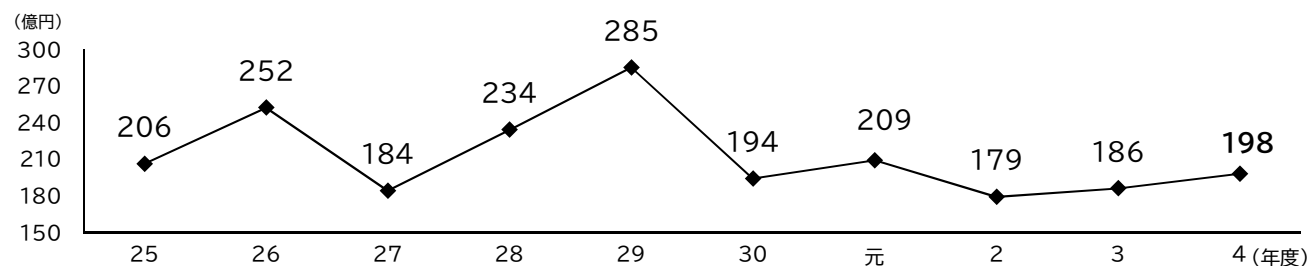
4年度 759億1,300万円



■ 保育関連経費や障害福祉関連経費の増などにより、2.1%の増となった。

(2) 普通建設事業費

4年度 198億3,900万円



■ 第二大島小学校改築の皆増や小学校大規模改修事業の増などにより、6.6%の増となった。

2-4 積立基金と特別区債の現在高の推移

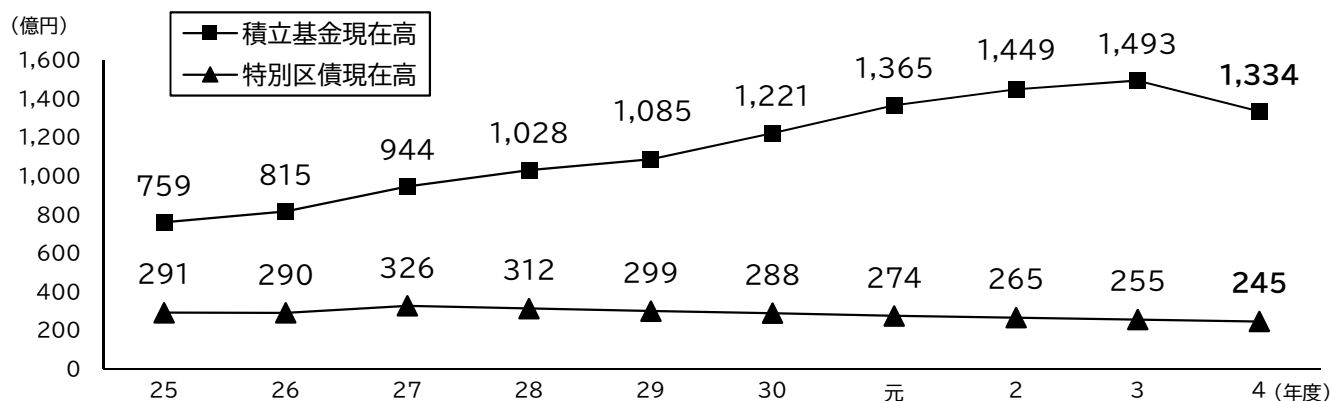
4年度末 積立基金 1,334億 800万円
特別区債 244億 8,700万円

(単位: 億円)

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
積立基金	759	815	944	1,028	1,085	1,221	1,365	1,449	1,493	1,334
特別区債	291	290	326	312	299	288	274	265	255	245

*平成25年度から令和2年度までは決算額。令和3年度以降の金額は年度末見込額。

*上記積立基金には、介護保険関連基金は含まれていない。



■ 令和4年度は、年度間の財源調整を図るために財政調整基金120億円、公共施設の整備や改修などに充てるために公共施設建設基金58億円、小学校の大規模改修工事などに充てるために学校施設改築等基金43億円など、229億円の基金を活用する。

3 歳出の抑制

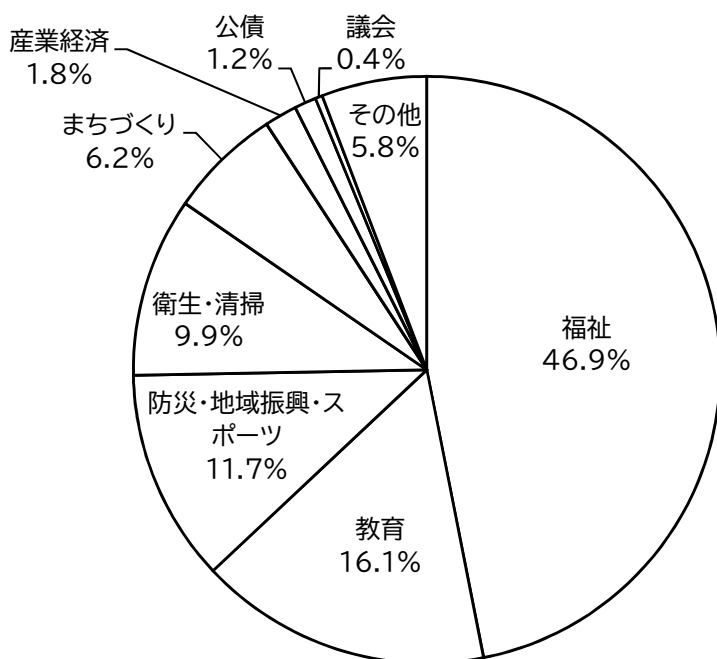
事業の見直し等による削減額 1億6,300万円

事業の見直しもしくは廃止した事業		1億6,300万円
	幼稚園の廃園	4,500万円
	小学校の用務の委託化	3,100万円
	区立保育園の民営化	2,200万円
	ごみ収集運搬の見直し	700万円
	食品添加物検査の委託化	500万円
	その他の見直し及び廃止	5,300万円

4 区民一人あたりの令和4年度歳出予算額

区民一人あたりの歳出予算額の内訳

目 的	費 目	金 額	構成比
高齢者や子育て支援など福祉施策に	民生費	203,532円	46.9%
学校教育や図書館などに	教育費	69,873円	16.1%
防災対策や地域振興、スポーツ振興などに	総務費	50,594円	11.7%
健康診断や母子保健、環境・清掃事業に	衛生費	43,189円	9.9%
道路・公園の整備やまちづくりに	土木費	27,007円	6.2%
商工業や観光の振興、消費者保護などに	産業経済費	7,884円	1.8%
特別区債の償還に	公債費	5,035円	1.2%
議会の運営のために	議会費	1,698円	0.4%
その他	他会計への繰出金等	25,488円	5.8%
合 計		434,300円	



【参考】区民一人あたりの特別区民税:97,969円
(令和4年度当初予算)

【参考】人口:525,952人
(令和4年1月1日現在、住民基本台帳調)



江東区観光キャラクター
コトミちゃん

令和4年2月2日

江東区 政策経営部 広報広聴課 報道係

03-3647-2363（直通）